

ベトナム研修旅行記

2014年10月21日～25日 at ベトナム ホーチミン市
群馬大学大学院 理工学府 電子情報部門 小林研究室 M1 姜 日晨

この度、私は小林・高井研究室のメンバーと一緒に4S-2014/AVIC2014に参加しにベトナム旅行に行きました。日本から続く東南アジアもピンを一つさす満喫の四日間でした。

初日に空港へ着き、最初に感じたのはやはり現地の暑さです、涼しいのは春節前後の二週間ぐらいと聞きまして冬のない町です。

マルグリット・デュラスの自叙伝だと思われる名作「L'Amant (愛人、ラマン)」の舞台サイゴン (ホーチミン市の旧称) で歩き、あの異彩のラブストーリーを追憶することができる。

また、68階のサイゴン・スカイデッキ (ビテクスコ・フィナンシャルタワー) のすぐ下に旧市街があり、オレンジ色の街路灯や行商人が立ち去った屋台が並ぶ通りを踏みながら、そのコントラストを味わうのも奇妙な体験でした。



サイゴン大教会前の聖母マリア



夜のホーチミン市人民委員会



歴史を語る宮殿と戦車

下記の口頭発表を行いました。

Chuan Gao, Guanglei Jin, Richen Jiang*, Murong Li, Yasunori Kobori,
Haruo Kobayashi, Masashi Ochiai, Shinji Aso
“Efficiency Improvement for Switching Power Supply at Light Load Using DSP
Control”
(The Joint Conference 4S-2014/AVIC2014 » Ho Chi Minh City, Vietnam October
22-24, 2014)



発表の様子

発展途上国のベトナムは日本より中国に似ることが多いと思いましたが、違うところも多くありました。通りで走り尽きせぬバイク、どこでもいる金髪の旅行者、観光地になるのはほとんど仏領インドシナ時代に残された建物、随所見られる日本企業の看板、解放されたからただ40年弱が過ぎまして、このような幾つの文化に挟むホーチミン市はこれからどんな目覚ましい発展を続けるでしょう。



サイゴン川のクルーズ船から見た夕焼け

最後になりましたが、この度のベトナム学会参加や旅行体験ができて、このような素晴らしい機会を与えてくださいました小林先生に感謝の意を表します。ありがとうございました。

